



* 1 0 3 - 0 1 5 D *

**2022年2月（第5版）

2017年4月（第4版）新記載要領に基づく改訂

認証番号 225ADBZX00075000

機械器具51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 単回使用汎用吸引チップ（JMDN：35917102）

メドライン サクションハンドル

再使用禁止

【禁忌・禁止】

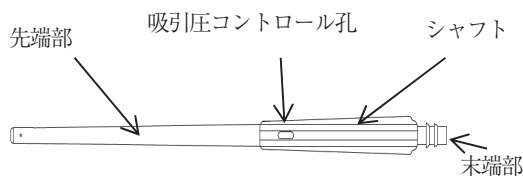
1. 再使用禁止
 2. 再滅菌禁止
- 〈併用医療機器〉「相互作用の項参照」
1. MRIなどの強磁場を発生させる装置との併用や、強磁場環境下で使用しないこと。

【**形状・構造及び原理等】

(1) ヤンカーサクション

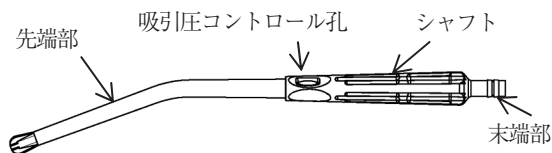
吸引圧コントロール孔がついていないタイプもある。

*a) フランジチップ ヤンカー（リジッド型）

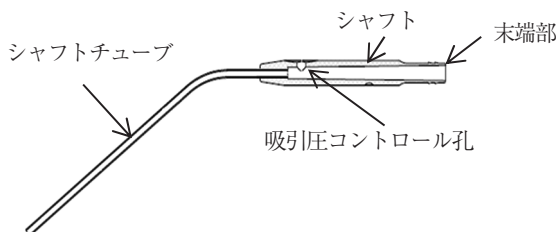


注意：ポリ塩化ビニルの可塑剤DEHP（フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）を使用

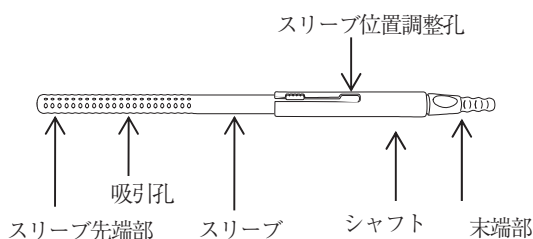
b) バルブチップ ヤンカー



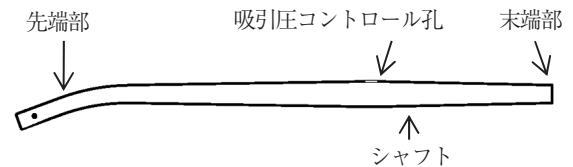
(2) フレイザーサクション



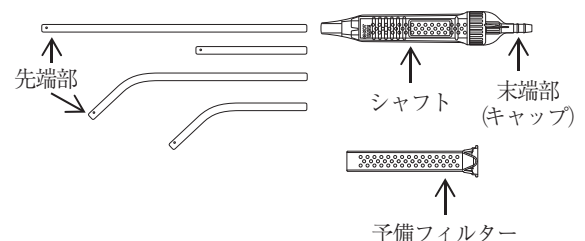
(3) プールサクション



(4) クリアサクションハンドル



(5) 整形外科用サクションハンドル



【使用目的又は効果】

外科、脳外科又は整形外科、歯科等の手術又は処置等において、血液、体液、分泌液又は骨片等を吸引・排出すること。

【使用方法等】

1. 使用方法

- (1) ヤンカーサクション、(4) クリアサクションハンドル
 - 1) 本品、チューブ(*)、吸引機器(*)等を準備する。
 - 2) 適切な個人用保護具（グローブ、マスク、ガウン等）を着用する。
 - 3) 本品の連結部にチューブ(*)をしっかりと接続する。
 - 4) 吸引機器(*)のスイッチを入れる。
 - 5) 対象部位の吸引を行う。
 - 6) 吸引圧コントロール孔があるものは、吸引圧調節を吸引圧コントロール孔の開閉により行う。
- (2) フレイザーサクション
 - 1) 本品、チューブ(*)、吸引機器(*)等の準備を行う。
 - 2) 適切な個人用保護具（グローブ、マスク、ガウン等）を着用する。
 - 3) 本品の連結部にチューブ(*)をしっかりと接続する。
 - 4) 40°以上曲がらないように注意しながら、本品のシャフトチューブ部分を対象部位に対して適切に当たるよう曲げて調整する。
 - 5) 吸引機器(*)のスイッチを入れる。
 - 6) 吸引圧調節を吸引圧コントロール孔の開閉により行い、対象部位の吸引を行う。
- (3) プールサクション
 - 1) 本品、チューブ(*)、吸引機器(*)等を準備する。
 - 2) 適切な個人用保護具（グローブ、マスク、ガウン等）を着用する。
 - 3) 本品の連結部にチューブ(*)をしっかりと接続する。
 - 4) 用途に応じてスリーブ位置調整孔で吸引孔の切り替えを行う。

5) 吸引機器^(*)のスイッチを入れる。

6) 対象部位の吸引を行う。

(5) 整形外科用サクシオンハンドル

1) 本品、チューブ^(*)、吸引機器^(*)等を準備する。

2) 適切な個人用保護具（グローブ、マスク、ガウン等）を着用する。

3) ハンドルのキャップ部にチューブ^(*)をしっかりと接続する。

4) 用途に応じてチップを選択しハンドルのチップ接続口に差し込む。

5) 吸引機器^(*)のスイッチを入れる。

6) 対象部位の吸引を行う。

7) フィルターの交換が必要な時は、キャップをハンドルから外して行う。

(*) 別売品

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

メドライン・ジャパン合同会社

電話：(03) 5842-8800

製造業者：

コノド メディカル（中国）

Conod Medical Co.,Ltd.

スージョウ ジングル ポリマー メディカル アパタス（中国）

Suzhou Jingle Polymer Medical Apparatus Co., Ltd.

ハンゾウ ジンリン メディカル アプライアンス（中国）

Hangzhou Jinlin Medical Appliances Co., Ltd.

ジーシーメディカ エンタープライズ（中国）

GCMEDICA ENTERPRISE LTD. (WUXI)

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 使用前に、外観上の損傷、汚れや動作不良がないことを確認すること。
2. 先端が組織内に埋って吸引できない場合には、吸引圧コントロール孔が付いているものは、孔を調節して吸引圧を下げること。
3. 本品の先端を臓器・脈管等に強く押し付けたり、擦り付けたり、引っ掻いたりしないこと〔臓器等損傷の危険性がある〕。
4. いったん曲げたシャフトチューブを同じ箇所でも逆方向に曲げ戻して使用しないこと〔破損するおそれがある〕。
5. 折れ、潰れ、破損を生じた本品は使用しないこと〔吸引不良、吸引不能、臓器損傷の危険性がある〕。

＜相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）＞

1. 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MRIなどの強磁場を発生させる装置	発熱及び引き寄せの危険性がある。	本品との併用に関する安全性が確認されていない。

2. 併用注意（併用に注意すること）

フレイザーサクシオンと電気メスを併用する場合は、メス先電極をシャフトチューブに触れた状態で使用しないこと〔シャフトチューブは、電気を通すため、スパーク発生や臓器損傷、術者に危害を及ぼす等の危険性がある〕。

【保管方法及び有効期間等】

保管の条件：水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

有効期間：本品の使用期限は包装に記載。〔自己認証（自社データ）による〕